

令和5年産かんしょの作付面積及び収穫量

ーかんしょの収穫量は71万5,800 tで、前年産に比べ1%増加ー

【調査結果の概要】

1 作付面積

全国の作付面積は3万2,000haで、前年産に比べ300ha（1%）減少した。

2 10a当たり収量

全国の10a当たり収量は2,240kgで、前年産を2%上回った。なお、10a当たり平均収量対比は102%となった。

3 収穫量

全国の収穫量は71万5,800 tで、前年産に比べ5,100 t（1%）増加した

図1 かんしょの作付面積、10a当たり収量及び収穫量の推移（全国）

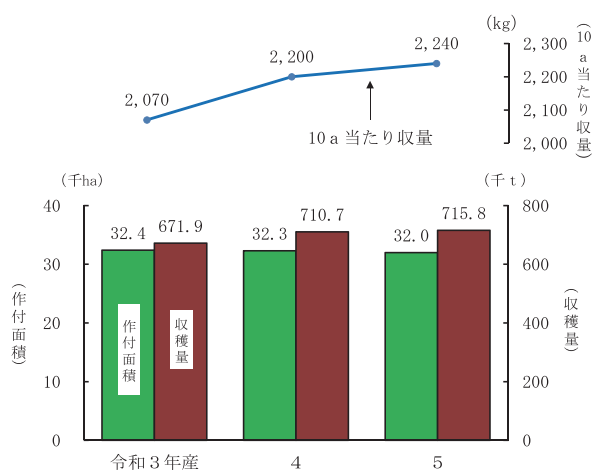
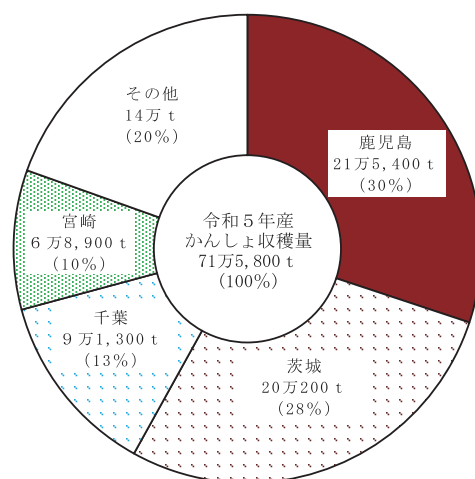


図2 令和5年産かんしょの都道府県別収穫量及び割合



注：割合については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない。

※令和6年2月6日に農林水産省大臣官房統計部から発表された資料から抜粋・編集している。

詳細は、同省のホームページ「統計情報の」以下のURLに掲載されている。

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/attach/pdf/syukaku_kansyo_23.pdf